

FILE No. 13
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
保健予防課 (その1)	339	2	グループカウンセリングの実施
	405		保健センターの施設維持管理
	406		事業所健診等
	407		区民に対する一般健康相談
	408		健康診断書発行
	450		妊産婦健康診査
	451		乳幼児健康診査
	452		乳幼児歯科相談
	453		一歳6か月児歯科健康診査
	454		3歳児歯科健康診査
	455		経過観察健診
	456		出産育児準備教室
	457	1	育児相談・講習会
	457	2	新生児訪問指導
	458		母子栄養補給品支給
	459		未熟児養育医療
	460		妊娠中毒症等医療費助成
	461		育成医療・療育給付公費負担
	473		大気汚染障害者認定
	474		光化学スモッグ被害対策
	475		公害学級
476		乳幼児アレルギー健康診査	
477		ぜん息児機能回復訓練等	
478		予防接種	

次のページへ

保健予防課 (その2)

FILE No. 13
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。
評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
保健予防課 (その2)	479		健康被害救済
	480		感染症対策
	481		エイズ対策
	482		結核患者管理
	483		結核予防
衛生試験所	409		衛生試験所運営

[前のページへ](#)[保健予防課 \(その1\)](#)

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		グループカウンセリングの実施				整理番号	339		枝番号	2		
所属部課名		保健福祉部杉並保健所保健予防課		コード	連絡先電話番号		4525		昨年度整理番号			
係名		保健係		上位施策名				NO				
予算事業名		児童虐待予防対策		コード	35900		地域子育て支援の充実				26	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 母子保健法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		育児不安・育児困難・虐待傾向のある保護者。		(2) 児童虐待の防止等に関する法律					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		子育て中の保護者同士が子育ての大変さや辛さ、母子関係・家族関係の悩み等を語り合える交流の場を作ると共に、専門相談員による助言・援助を行う。				(3)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		育児不安や負担感を軽減させ、安心して育児ができる保護者をふやす。				活動指標名(式)					
										成果指標名(式)		
										(1) カウンセリング実施回数		
										(2) カウンセリング参加延人員		
										(1) 子育てに自信が持てない母親の割合		
										(2) 子どもを虐待していると思う母親の割合		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
グループ活動・専門家の助言を通じて、育児不安や育児に対する困難さを解決し、保護者が自信と余裕を持って育児に臨めることにより、児童虐待を予防できる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		17年度			
指標	活動指標(1)		回			36	36	72		120	30.0	
	活動指標(2)		人				167					
	成果指標(1)		%							0		
	成果指標(2)		%							0.00		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			786	775	1,548		特記事項		
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人			0.21	0.00	0.21	0.00	0.58	0.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	1,906	1,906	5,264			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	2,692	2,681	6,812				
	単位あたりコスト ÷		円			74,771	74,465	94,604				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,692	2,681	6,812					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、親子の心の健康について関心が高まってきているが、都市の核家族化の進行にともない母親の多くは、以前に比べ妊娠期、出産、産褥期、育児に至るまで不安や負担感を抱えている。国が示した全国的な母子保健の動向(すこやか親子21検討報告)でも21世紀の取組むべき主要課題の1つとして、妊娠期から育児期にかけての母親の心のケアが示された。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		少子化、核家族化、地域の育児支援能力の低下等、親子の健全な心の関係を阻害する要因により、育児への不安感や孤立感を持つ母親の数は今後増加していくことが予測される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センターの施設維持管理				整理番号	405		枝番号						
所属部課名 荻窪・高井戸・高円寺・上井草・和泉保健センター		コード		連絡先電話番号		昨年度整理番号		431							
係名 業務係					上位施策名			NO							
予算事業名		保健所等維持運営		コード		40600		保健福祉施策の総合的推進							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法 同施行令 同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置等に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		保健センターを利用する一般区民及び保健センターに勤務する職員										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)									
	庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕。					(1) 建物面積 1m ² (2) 保守委託契約件数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)										
庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健(検)診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。					(1) 不具合件数 (2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
快適・安全な環境を維持することができ、公衆衛生行政が円滑に行なえる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		m ²	5,893		5,893		5,893	5,893	5,893					
	活動指標(2)		件					51	51	51					
	成果指標(1)		件					94	94	90					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	107,235		139,015		109,197		106,940		71,516		特記事項	
	(内)委託費		千円			34,863		38,725		36,821		35,050		保健センター面積(単位:m ²)	
	職員数(正規 非常勤)		人	9.00	0.50	9.47	0.00	9.84	0.00	7.45	0.00	7.88	0.00	荻窪 = 1335.88	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	81,657		85,921		89,298		67,609		71,511		高井戸 = 1356.74
		非常勤職員分		千円	1,470		0		0		0		0		高円寺 = 1764.74(分室含む)
	総事業費 ++		千円	190,362		224,936		198,495		174,549		143,027		上井草 = 815.37	
	単位あたりコスト ÷		円	32,303		38,170		33,683		29,620		24,271		和泉 = 620.18	
	財源	受益者負担分		千円	60		48		149		220		148		計 5892.91
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	60		48		149		220		148		
差引:一般財源 -		千円	190,302		224,888		198,346		174,329		142,879				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.1		0.1		0.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化の進行、育児不安を持つ親の増加、児童虐待の表面化等、子どもを取り巻く問題が、深刻さを増している。施設面では荻窪以外の保健センターは、開所以来大規模修繕を行っていないため、施設及び設備機器の老朽化が進み、設備機器については突発的に使用不能になるとい事態が起こっている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢者、障害者の方々の来所が増えてきているため、施設面の苦情が寄せられている。(エレベーターの設置・洋式トイレの増設)また、老朽化に伴う苦情も多い。(換気が悪い・冷暖房の不良・トイレが汚い)												
	今後の予測		母子保健における健診・相談業務の必要性、地域活動の重要性は高まるばかりである。設備機器について老朽化が激しいため、突発的に使用不能となる事態も考えられる。大規模修繕は空間的余裕がないため、実現は困難であるが、平成16年度に予定されている(仮称)保健福祉センターの設置にあわせ、事務室の改造が必要と考える。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		事業所健診等				整理番号	406		枝番号			
所属部課名		杉並保健所保健予防課 全保健センター		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	432		
係名		保健係				上位施策名			NO			
予算事業名		保健所等維持運営		コード	40600		生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地域保健法第6条第14項、同施行令 施行規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健所設置条例							
	区内の一定規模以下（従業員が30人未満）の小規模企業の従事者及び障害者施設入所者。		(3) 労働安全衛生法、同施行令 施行規則 杉並区事業所健康診査実施要領									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）									
健康づくりの機会に恵まれない区内の小規模企業の労働者に対し、労働安全衛生法令に基づいた健康診査及び事後指導等を保健センターに来所する形式で行う。						(1) 健診受信者数						
						(2) 受診事業所数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）										
区内事業所で働く労働者の健康と安全を保持増進させることにより区の産業経済の発展に寄与できる。						(1) 受診事業所数 / 8年度30人未満事業所数						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
小規模事業所の労働環境を改善整備し、従事者自身による健康の自己管理を行うことにより、結核・エイズ等の感染症や生活習慣病の予防及び労働安全衛生レベルの向上に寄与し、区の産業経済の発展に資するとともに、区全体の健康水準の向上が図られる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		人	820	2,362	2,400	2,126	2,400				
	活動指標(2)		所	216	213	220	222	220				
	成果指標(1)		%		1	1	1	1				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,926	13,340	10,766	12,902	9,776	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.50 0.00	3.78 0.00	4.20 0.00	4.57 0.16	3.90 0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	22,683	34,296	38,115	41,473	35,393			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	475	890			
	総事業費 + +		千円	24,609	47,636	48,881	54,849	46,058				
	単位あたりコスト ÷		円	30,010	20,168	20,367	25,799	19,191				
	財源	受益者負担分		千円	0	6,929	7,000	6,663	8,730			
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	6,929	7,000	6,663	8,730			
差引：一般財源 -		千円	24,609	40,707	41,881	48,186	37,328					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	14.5	14.3	12.1	19.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		公的に実施される健康診断(区民健診等)が普及されるに従い、家内工業的に行われている小規模企業についても区民であれば個人として健康診断を受けられる機会が普及してきている。職場における労働時間や職場の労働環境などから影響されるストレスの健康への影響が示唆されつつある。こういった背景から国レベルにおいても医師会との協力のもと産業保健への取り組みが進みつつある。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		現在行われている健診とその結果説明中心の事業所健診は、民間医療機関でも受入れ可能になって来ている。今後、受入れ可能機関の増加とともに、民間との役割分担について検討が求められる。健診以外の健康衛生教育、職場環境改善対策等については、別途関係機関と役割分担して対策を進めていく必要がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民に対する一般健康相談				整理番号	407		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課 全保健センター		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	433					
係名		保健係			上位施策名				NO						
予算事業名		保健所等維持運営		コード	40600	生涯を通じた健康づくりの支援				23					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法 同施行令 同施行規則								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民		(2) 医療法 同施行令 同施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		来所者の健康に関する相談を受け、必要な検査を行い、結果に基づいて個別に説明・指導する。				(3) 杉並区立保健センター条例								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		個々の健康状態にあった指導・サービスの提供・紹介により、健康不安の解消・健康の保持増進・生活習慣の改善などができる。				活動指標名(式)								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民の健康ニーズに見合った適切な保健指導(生活・栄養・運動)を行うことにより、精密検査や治療等が必要な方を医療や福祉サービス等に結びつけることで、区全体の健康水準の向上が図られる。				(1) 来所人数(延) (2) 実施回数								
成果指標名(式)						(1) (代)来所人数対前年度比 (2)									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%						
				計画	実績		年度								
指標	活動指標(1)	人	845	638	650	837	650								
	活動指標(2)	回	119	120	120	119	120								
	成果指標(1)	%	101	75		131									
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,541	4,466	4,839	4,857	9,425	特記事項						
	(内)委託費		千円						14年度計画の事業費の増は13年度まで健康事業共通物品購入費を成人健康診査事業の経費として計上していたが、14年度から成人健康診査事業が委託となったため、本事業の事業費として組み込んだための増である。						
	職員数(正規 非常勤)		人	1.59	0.00	2.45	0.00	2.57			0.00	2.33	0.10	2.25	0.10
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,426	22,229	23,323	21,145	20,419							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	297	297							
	総事業費 ++		千円	19,967	26,695	28,162	26,298	30,140							
	単位あたりコスト ÷		円	23,630	41,841	43,326	31,420	46,370							
	財源	受益者負担分		千円	6,037	1,094	2,000	1,093			1,694				
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	6,037	1,094	2,000	1,093			1,694				
差引:一般財源 -		千円	13,930	25,601	26,162	25,205	28,446								
受益者負担比率 ÷		%	30.2	4.1	7.1	4.2	5.6								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		健康診断書発行を伴う健康相談として各センター週1回の体制で開始したが、11年度より各センター月2回となった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		成人健康診査後の個別事後指導や再検査の場として利用している区民もいる。												
	今後の予測		1回の相談者数が数人で、セカンドオピニオンを求めたり 相談内容も複雑化の傾向にある。来所者が増えれば時間内での対応は困難となる可能性もある。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康診断書発行				整理番号	408		枝番号				
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	40600	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	434			
係名		保健係		上位施策名				NO					
予算事業名		保健所等維持運営		コード	40600	生涯を通じた健康づくりの支援				23			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		23年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		(1) 医師法第19条第2項						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健所の設置等に関する条例								
	区内在住・在勤者で、健康診断書を必要とする人。		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		毎週1回予約制で、健康診断書に必要な問診・検査等を行い、健康診断書を発行する。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		受験・就職のために健康診断書の必要な区内在住在勤に対し発行する。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		就職、受験に必要な診断書を発行するための事業なので、上位施策との関連性が低い。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人	2,818	2,654	2,600	2,098						
	活動指標(2)		枚	3,717	3,687	3,600	2,765						
	成果指標(1)		人	56	72	51	41						
	成果指標(2)		%										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,995	15,683	15,804	14,966	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	13年度を以って当事業は廃止となった。					
	職員数(正規 非常勤)		人	2.46	0.00	1.92	0.00	1.42	0.00	2.43	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	22,320	17,420	12,887	22,052			0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	38,315	33,103	28,691	37,018			0			
	単位あたりコスト ÷		円	13,596	12,473	11,035	17,645						
	財源	受益者負担分		千円	8,350	8,968	10,743	3,971					
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0					
		特定財源計 +		千円	8,350	8,968	10,743	3,971			0		
差引:一般財源 -		千円	29,965	24,135	17,948	33,047			0				
受益者負担比率 ÷		%	21.8	27.1	37.4	10.7							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始当初は、就職・受験等に必要な診断書を発行できる診療所が少なく、保健所に診療所機能が求められていたが、現在は医療機関の整備が進み、保健所の診療所としての機能は薄れている。平成10年度まで5センターで月2回実施していたが、平成11年度から杉並保健所1個所で毎週実施に変更した。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		診断書発行が可能な医療機関が増加すれば民間医療機関への移行が進む。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		妊産婦健康診査			整理番号	450	枝番号		
所属部課名 杉並保健所保健予防課				コード	150531	連絡先電話番号	4525	昨年度整理番号	475-476-489
係名 保健係				上位施策名				NO	
予算事業名 妊産婦等健康診査 母子健全育成				コード	43400	生涯を通じた健康づくりの支援			23
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 母子保健法第10・13条				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 妊婦健康診査 = 妊娠届を出した妊婦(区民) 妊産婦歯科健康診査 = 区内在住の妊婦 保健指導票 = 生活保護世帯及び区民税非課税世帯の妊産婦、乳児で健				(2) 地域保健法第6条及び8項 (3) 杉並区妊産婦健康診査実施要領 杉並区保健指導票事務取扱要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 妊娠届出時に健診票を交付し、委託契約した医療機関において受診する。 出産育児準備教室開催時に実施している。 非課税世帯の妊産婦、乳児に対しては指定医療機関で保健指導が受けられる受診票を交付している。				活動指標名(式) (1) 母子健康手帳交付件数 (= 受診票交付件数) (2) 保健指導票交付件数 (= 妊産婦 + 乳児)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 妊婦の疾病を早期に発見することで、母子の障害を予防し安全で快適な出産と健康増進に役立てる。				成果指標名(式) (1) (代) 受診率 (受診件数 前期) ÷ 受診票交付件数 (2) (代) 交付率 (指導票交付実人数 ÷ 母子健康手帳交付件数)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 母子の健康を保持・増進することで生涯を通じた健康づくりに貢献する。								

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
						計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)	件	4060	4019	4100	4184	4500						
	活動指標(2)	件	60	71	68	55	68						
	成果指標(1)	%	93.60	93.66		91.49	100						
	成果指標(2)	%		0.57		0.31							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	59,981	60,203	59,254	62,279	61,074	特記事項					
	(内)委託費	千円			57,017	59,394	58,813						
	職員数(正規 非常勤)	人	1.43 0.00	1.42 0.00	1.34 0.00	2.51 0.00	3.10 0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,974	12,884	12,161	22,778	28,133					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + + +	千円	72,955	73,087	71,415	85,057	89,207						
	単位あたりコスト ÷	円	17,969	18,185	17,418	20,329	19,824						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	72,955	73,087	71,415	85,057	89,207						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	母子保健対策の充実により、妊婦及び出生児の死亡は減少している。また、出産年齢の上昇に伴い平成8年度より35歳以上の妊婦に対し超音波検査の項目が追加された。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	里帰り出産等、地方での医療機関でも無料で受診できるようにしてほしいとの要望がある。
	今後の予測	少子化が続くことが見込まれるが、受診者数の変化はない。保健指導票に対しては、母子の健全育成事業として今後も制度の需要は変わらない。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳幼児健康診査			整理番号	451		枝番号	
所属部課名 杉並保健所保健予防課				コード	150531	連絡先電話番号	4525	昨年度整理番号	477-478-479-480-481
係名 保健係				上位施策名				NO	
予算事業名 乳幼児健康診査等				コード	48350	生涯を通じた健康づくりの支援			
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成				年度		(1) 母子保健法第13条			
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 地域保健法第6条8項					
区内在住の4か月児、6～7か月児、9～10か月児、1歳6か月児及び3歳児とその保護者				(3) 各杉並区健康診査実施要領					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)					
保健センター及び契約医療機関において、医師・歯科医師・保健師・栄養士・歯科衛生士及び心理相談員等による総合的健診を実施している。また、6か月児を対象に小児がんの一種である神経芽細胞腫の検査を実施している。				(1) 受診者数					
				(2) 保健センターで実施している健診の実施回数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)					
乳幼児の疾病・異常を早期発見し、健全な育成を期するため適切な保健指導を行い、保護者への支援、不安解消を図る。				(1) (代)受診率(受診者数÷対象者数)					
				(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
乳幼児の健康の保持・増進に役立つ。									

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度			
指標	活動指標(1)	人	18,253	19,106	20,712	19,275	18,961						
	活動指標(2)	回	84	84	84	84	84						
	成果指標(1)	%	89.4	90.2	100	93	100						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	94,470	91,211	91,791	92,953	97,740	特記事項					
	(内)委託費	千円			59,845	61,443	65,763						
	職員数(正規 非常勤)	人	10.42	0.00	9.45	0.00	12.23	0.00	13.17	0.00	12.68	0.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	94,541	85,740	110,987	119,518	115,071					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++	千円	189,011	176,951	202,778	212,471	212,811						
	単位あたりコスト ÷	円	10,355	9,262	9,790	11,023	11,224						
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	189,011	176,951	202,778	212,471	212,811						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	少子化・核家族化に伴い地域での仲間づくりを支援し育児の孤立化を防ぐが必要になってきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保健センターで行う健診は「待ち時間が長い」、また母親が勤めている家庭が多い現在、健診を休日に行ってほしい。核家族化の進行により多様な知識の吸収の場としての期待が高まっている。
	今後の予測	少子化・核家族化による母親の育児負担、育児不安及び孤立化した育児環境からの問題が増加すると思われる。母親へのサポートが必要となる。出生の減少により対象者は少なくなっているが、受診率は高い。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳幼児歯科相談				整理番号	452		枝番号							
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	482					
係名		保健係				上位施策名			NO							
予算事業名		乳幼児健康診査等		コード	43600		生涯を通じた健康づくりの支援			23						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		23 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 母子保健法第13条									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 地域保健法第6条									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		1、4歳までの乳幼児とその保護者 2、歯科医療機関・保健センターから推薦された就学までの児とその家族				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		1、歯科健診及び歯科保健指導(口腔清掃等)、予防処置 2、よい歯ファミリーフェスティバルの実施・表彰				活動指標名(式)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		1、2の活動を通して、対象者とその家族とその家族が適切な知識を得て、口腔疾患の発生、重症化を防ぐことができる。また、口腔疾患、口腔の機能発達について、不安を抱く保護者への助言の機会となる。				成果指標名(式)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健診機会の少ない乳幼児に機会を提供するとともに、適切な知識の普及を図り、う蝕発症と重症化を予防すること、保護者の口腔に関する不安、相談に助言を行う場となることで、幼児の健全育成に貢献する。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度計画		13年度実績		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	5,334		5,076		6,500		4,786		4,600		4,000	119.7	
	活動指標(2)		人	38		38		20		46		30		50	92.0	
	成果指標(1)		%	21.1		21.4		21		21.3		21		20	106.5	
	成果指標(2)		%	32.1		37.3		35		46.3		35		32	144.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,488		4,882		5,012		4,663		6,882		特記事項		
	(内)委託費		千円													
	職員数(正規 非常勤)		人	3.00	0.00	2.78	0.00	2.88	0.00	1.97	0.00	2.03	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	27,219		25,223		26,136		17,878		18,422			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	34,707		30,105		31,148		22,541		25,304				
	単位あたりコスト ÷		円	6,507		5,931		4,792		4,710		5,501				
	財源	受益者負担分		千円												
		国都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	34,707		30,105		31,148		22,541		25,304					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		出生数の減少に伴い、対象者は減少しているが、保護者の口腔に関する知識は高まっているため、相談内容が多様化している。また、対象を4歳までとしたことで、歯科医療機関での乳幼児の健診機会は増えていると思われるが、まだ十分ではない。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		予防的な健康教育や育児へのサポート 新しい知識を得る場として期待される。													
	今後の予測		少子化、核家族化による保護者の育児不安の増大、意識の変化による相談内容の多様化、細分化が予測される。また、かかりつけ歯科医による健診が増えていくことが予測される。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一歳6か月児歯科健康診査				整理番号	453		枝番号				
所属部課名 杉並保健所 保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	483				
係名 保健係		上位施策名						NO					
予算事業名 乳幼児健康診査等		コード	43600		生涯を通じた健康づくりの支援				23				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 母子保健法第12条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		1歳6か月児とその保護者。		(2)								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		1歳6か月児に対して歯科検診および保健指導(口腔清掃等)を実施する。		活動指標名(式)		(1) 歯科健診受診者数						
						(2) 歯科健診受診者率							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な知識を得ることによってう蝕を誘発する可能性の高い生活習慣を改善し、う蝕の発症を防ぐ。また、既にう蝕等に罹患しているものは適切な管理をする。		成果指標名(式)		(1) 三歳児歯科健康診査受診者のうちう蝕を有している児の割合							
						(2) 三歳児歯科健康診査受診者のうち好ましい保健行動をとっている児の割合							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
児のう蝕を始めとする歯科疾患の発症と重症化を予防すること、保護者の持つ児の口腔の機能・発達に関する不安や相談に助言を行うことで、幼児の健全育成と健康の保持増進に貢献している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績		18年度			
指標	活動指標(1)		人	2978	3020	3300	3,186	3,200	3,300	96.5			
	活動指標(2)		%	91.8	91.1	93.0	92.5	93.0	93.5	98.9			
	成果指標(1)		%	21.1	21.4	21.0	21.3	21.0	20.0	106.5			
	成果指標(2)		%		70.0	69.0	66.5	70.0	71.0	93.7			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,914	5,453	5,876	4,921	5,876	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	1.10	0.00	0.98	0.00	0.85	0.00	1.03	0.00	0.82	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,980	8,892	7,714	9,347	7,442				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	16,894	14,345	13,590	14,268	13,318					
	単位あたりコスト ÷		円	5,673	4,750	4,118	4,478	4,162					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円		573	534	507	564				
		特定財源計 +		千円	0	573	534	507	564				
差引:一般財源 -		千円	16,894	13,772	13,056	13,761	12,754						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		住民意識の向上で、予防へのニーズは高まっている。また、事業開始当初に比べれば対象人口は減少しているが、変化の幅は小さくなっている。また、歯科医学の進歩とともに具体的な予防策も整いつつある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		予防的な視点での健康教育や子育ての不安に対するサポートが期待される。また、最新の知見を得る場としても期待される。										
	今後の予測		相談内容の細分化、多様化が予想される。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		3歳児歯科健康診査				整理番号	454		枝番号	484		
所属部課名		保健福祉部保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	484	
係名		保健係		上位施策名				NO				
予算事業名		乳幼児健康診査等		コード	43600		生涯を通じた健康づくりの支援				23	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 母子保健法第12条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	満3歳に達し、満4歳を超えない幼児とその保護者		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		3歳児に対して歯科健診および保健指導(口腔衛生指導等)を行う。		活動指標名(式)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な健康教育を行うことによって、う蝕等の口腔疾患を予防するとともに、罹患者の早期発見と適切な処置、管理により重症化を防ぐ。また、保護者に口腔疾患の発生等に関し相談の場を設けることにより育児不安を解消し、健全な児の発育を期		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		児のう蝕等の発生と重症化を予防すること、保護者が持つ児の口腔に関する不安、相談に助言を行い、幼児の健全育成をはかり、健康の保持増進に貢献している。		(1) 5歳児でう蝕のある児の割合								
		(2)										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		18年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	2,850	2,917	3,000	3,186	3,061	2,976	107.1			
	活動指標(2)	%	89.2	91.1	93.0	94.8	95.0	96.0	98.8			
	成果指標(1)	%	56.0	60.2	53.0	57.1	55.0	53.0	107.7			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,958	4,984	5,128	5,127	4,376	特記事項				
	(内)委託費	千円										
	職員数(正規 非常勤)	人	0.72	0.00	0.57	0.00	0.65	0.00	0.66	0.00	0.67	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,533	5,172	5,899	5,990	6,080				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	11,491	10,156	11,027	11,117	10,456					
	単位あたりコスト ÷	円	4,032	3,482	3,676	3,489	3,416					
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円		501	464	455	457				
		特定財源計 +	千円	0	501	464	455	457				
差引:一般財源 -		千円	11,491	9,655	10,563	10,662	9,999					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	保護者の意識の変化にともない相談内容、健診への要望の多様化が見られる。また、歯科医学の進歩に伴い、具体的予防策が確立しつつある。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	より予防的な健康教育、子育ての不安に対するサポート 最新の知見を得る場として期待されている。										
	今後の予測	意識の変化、少子化、核家族化によって保護者の育児不安の増大、相談内容の多様化が予測される。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		経過観察健診				整理番号	455		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	485				
係名		保健係				上位施策名			NO						
予算事業名		乳幼児健康診査等		コード	48350		生涯を通じた健康づくりの支援			23					
事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		50 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 母子保健法第13条									
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 乳幼児経過観察健康診査実施要領											
乳幼児健診または健康相談等で、身体及び心理発達面で経過観察を必要とする乳幼児とその保護者		(3)													
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		専門医師・心理相談員・栄養士及び保健師による診察、指導相談等を実施している。				活動指標名(式)									
						(1) 経過観察受診者実数									
						(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		乳幼児への適切な医療、療育の導入と専門職とのフォロー体制及び保護者への育児相談に対応することにより、乳幼児の健全な育成を図る。				成果指標名(式)									
						(1) 初診者の有所見率 (初診者の有所見者数÷初診者実数)									
						(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
乳幼児の身体、精神的発育、発達のフォローと疾病、障害の早期発見を図り、適切な医療、療育につなげる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		人	463		432		450		463		450			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	32.1		27.3				36.1					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,408		3,605		4,213		4,001		3,909		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.86	0.00	1.02	0.00	1.28	0.00	1.13	0.00	0.92	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,803		9,254		11,616		10,255		8,349		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	12,211		12,859		15,829		14,256		12,258			
	単位あたりコスト ÷		円	34,494		48,895		54,574		30,790		27,240			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	12,211		12,859		15,829		14,256		12,258				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		乳幼児医療の進歩により大きな疾病や障害は管理されるようになったが、ボーダーライン児の相談及び情報過多による育児不安への対応が増加している。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		自閉症や多動児及びボーダーライン児の相談や育児不安による相談が増加する。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		出産育児準備教室				整理番号	456		枝番号							
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	486					
係名				保健係				上位施策名			NO					
予算事業名				母子健全育成				コード			48450		生涯を通じた健康づくりの支援		23	
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		27 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 母子保健法第9条 第10条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		1 母親学級 主に初産の妊婦 2 パパママ学級 主に初産の妊婦とその夫				(2) 出産準備教室実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				母親学級は、出産に向けた準備に関する講義、実習(妊婦歯科健診を含む)、グループワーク、パパママ学級は沐浴実習や父親の役割をテーマに開催(年8回は土曜日の開催もあり)				活動指標名(式)				(1) 受講者数(実)(母親学級)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				安心して出産・子育てできるように、母同志の情報交換と地域での仲間作りを進め、育児の孤立化、育児不安の解消をめざす。また、男性の育児参加を促進する。				成果指標名(式)				(1) (代) 受講率(受講者÷母子手帳交付件数)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												安心して出産・子育てできる環境作りには貢献している。				
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度				14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績				年度			
指標	活動指標(1)		人	835		673		1000		877		1000				
	活動指標(2)		人	1380		1357		1360		1151						
	成果指標(1)		%	19.9		16.3		25		21						
	成果指標(2)		%			50.60				50.20						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,432		2,247		2,376		2,306		2,314		特記事項		
	(内)委託費		千円													
	職員数(正規 非常勤)		人	3.15	0.00	2.73	0.00	4.04	0.00	3.29	0.00	3.30	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	28,580		24,769		36,663		29,857		29,948			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	31,012		27,016		39,039		32,163		32,262				
	単位あたりコスト ÷		円	37,140		40,143		39,039		36,674		32,262				
	財源	受益者負担分		千円												
		国都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	31,012		27,016		39,039		32,163		32,262					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		医療機関での講座はあるが、核家族の増加に伴い、地域の情報交換、仲間作りの場は、ますます必要となっている。平成9年度から、平日参加ができない父母のために、土曜日のパパママ学級を年8回開催している。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		土曜パパママ学級は、開催月にもよるが、毎回2倍前後の応募者があるため、希望どおり受講できないことがある。													
	今後の予測		就労妊婦が増加し、今後も休日の学級の需要は増加すると考えられる。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		育児相談・講習会				整理番号	457		枝番号	1					
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	487				
係名		保健係								NO					
予算事業名		母子健全育成		コード	48450		生涯を通じた健康づくりの支援				23				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 母子保健法第9条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 母子保健法第10条								
	乳幼児とその保護者						(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		1 育児相談 相談及び希望者への身体測定、母同志の交流 2 講習会 専門家による講演、離乳食調理実演、情報提供				活動指標名(式)								
						(1) 育児相談参加者延数									
						(2) 育児講習会、離乳食講習会参加者延数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		乳幼児及びその母の健康保持増進のため、専門職員が相談に応じ、必要な助言指導を行う。母同志の交流や情報交換により、育児不安の解消、地域での孤立化を予防する。				成果指標名(式)									
						(1) (代) 育児相談対前年比率									
						(2) (代) 講習会对前年比									
地域で安心して育児にとりくめるための制度として貢献している。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		人	2521		3200		2000		3624		2000			
	活動指標(2)		人	1991		1964		1900		1783		1900			
	成果指標(1)		%	149.3		127				144					
	成果指標(2)		%	108.60		98.60				97.60					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,024		2,119		2,004		1,866		2,004		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	2.93	0.00	2.70	0.00	2.93	0.00	2.64	0.00	2.74	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	26,584		24,497		26,590		23,958		24,866		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	28,608		26,616		28,594		25,824		26,870			
	単位あたりコスト ÷		円	11,348		8,318		14,297		7,126		13,435			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円	350		334		350						
		特定財源計 +		千円	350		334		350		0		0		
差引:一般財源 -		千円	28,258		26,282		28,244		25,824		26,870				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区全体として子育て支援への取り組みが進み、本事業と類似の内容が児童館等でも行われるようになってきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		内容については、参加者の多くから好評を得ている。母同志の交流会の場所が狭い。												
	今後の予測		子どもを取り巻く社会環境からしても、育児の問題は、今後ますます深刻化していくものと考えられる。このため乳児の絶対数は減少しても、育児相談等に対するニーズは増加していくと予想される。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		新生児訪問指導				整理番号	457		枝番号	2			
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	488		
係名		保健係									NO		
予算事業名		母子健全育成		コード	48450		生涯を通じた健康づくりの支援				23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 母子保健法第11条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 地域保健法第6条						
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順) 新生児訪問指導員、保健師が家庭訪問し、育児指導、疾病、異常の早期発見、母の育児不安の解消などのため、相談指導を行っている。				(3)						
	意図		(対象をどのような状態にしたいのか) 出産直後の母の心身の安定を図るとともに、育児不安を解消し、育児に積極的に関わられるようにする。				活動指標名(式)						
										(1) 訪問件数(延) (2) 第一子出生数			
										成果指標名(式) (1) (代) 訪問件数(実) / 第一子出生数 (2)			
地域で安心して育児にとりくめるための制度として貢献している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人	954	885	950	839	949					
	活動指標(2)		人	1994	2160	2200	2040						
	成果指標(1)		%	48	53	43	50.7						
	成果指標(2)		%										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,391	3,138	3,562	2,962	3,497	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	2.30	0.00	2.15	0.00	2.14	0.00	1.68	0.00	1.71	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	20,868	19,507	19,421	15,246	15,518				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	24,259	22,645	22,983	18,208	19,015					
	単位あたりコスト ÷		円	25,429	25,588	24,192	21,702	20,037					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	24,259	22,645	22,983	18,208	19,015						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		少子化、核家族化、地域連帯感が希薄になるなど子どもや家族をめぐる環境が変化し、育児方法の知識普及や疾病異常の早期発見はもとより、育児不安解消についても多様なニーズがでてきている。11年度から希望者への訪問が中心となった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		退院後、里帰り後など育児に不慣れな状態での訪問で安心した。最新の子育て情報が知りたい。										
	今後の予測		核家族化が進み、育児不安解消のため本事業の必要性はあり、特に母の心身の安定を図ることは、今まで以上に重点をおいていく必要がある。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母子栄養補給品支給				整理番号	458		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	490				
係名		保健係									NO				
予算事業名		母子健全育成		コード	48450		健康を支える仕組みづくり					40			
事務事業の概要	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		(1) 母子保健法第14条												
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 生活保護世帯、住民税非課税世帯、住民税均等割世帯、所得税非課税世帯に属する妊産婦及び乳児		(2) 母子栄養補給品事業実施要領												
			(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 母子栄養強化のため、妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを無償支給する。		活動指標名(式)		(1) 粉ミルク支給人員										
		(2)													
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 粉ミルクを支給することにより、母子の栄養状態が改善される。		成果指標名(式)		(1) (代) 粉ミルク支給人員/妊娠届数											
		(2)													
国民の栄養状態が向上したなかで本事業の意義は薄れてきている。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	26		22		30		30		26			
	活動指標(2)		人												
	成果指標(1)		%	0.62		0.55				0.72					
	成果指標(2)		%												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	232		136		246		154		185		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	363		363		363		363		363		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	595		499		609		517		548			
	単位あたりコスト ÷		円	22,882		22,678		20,300		17,233		21,077			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	595		499		609		517		548				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初に比べ、全般的に妊産婦や乳幼児の栄養状態は改善されており 支給人員は減少している。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		引き続き対象人員の減少、栄養状態の改善のため更に支給人員は減少する見込みである。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		未熟児養育医療				整理番号	459		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	491				
係名		保健係				上位施策名			NO						
予算事業名		母子保健医療費助成		コード	44000		健康を支える仕組みづくり			40					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 母子保健法第20条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区母子保健法施行細則第5条										
	出生時体重		2,000g以下等、身体の発育が未熟なまま出生した乳児で、医師が入院養育を必要と認めた者。												
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)								
	申請を保健センター経由で受理し、保護者に対して医療券を交付し、医療費助成による経済的支援を行うと共に、必要に応じた面接を実施し育児支援を行う。		(1) 養育医療受給者数												
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)									
未熟児に対し、出生後速やかに適切な処置を講じ、心身障害を防止し健康な発育を促す。		(1) (代)医療受給者数 / 出生数													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		保護者の経済的負担を軽減することで安心して育児に取り組める。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	78		79		80		86		80			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	2.3		2.2				2.45					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,978		15,143		18,005		13,978		18,008		特記事項	
	(内)委託費		千円					11		10		11			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.28	0.00	0.41	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907		907		908		2,541		3,721		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	16,885		16,050		18,913		16,519		21,729			
	単位あたりコスト ÷		円	216,478		203,168		236,406		192,081		271,609			
	財源	受益者負担分		千円			1,852		3,145		2,089		3,146		
		国都等からの支出金		千円			7,775		5,609		4,120		5,609		
		特定財源計 +		千円	0		9,627		8,754		6,209		8,755		
差引:一般財源 -		千円	16,885		6,423		10,159		10,310		12,974				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		11.5		16.6		12.6		14.5				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		医療技術の向上等により 超未熟児を含め低体重出生児の出生数は漸増している。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		医療制度の充実や医療技術の進歩に伴い、低体重児の出生数は増加する見込みである。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		妊娠中毒症等医療費助成				整理番号	460		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	492					
係名		保健係				上位施策名			NO						
予算事業名		母子保健医療費助成		コード	44000	健康を支える仕組みづくり			40						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 母子保健法第17条第2項								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 特別区妊娠中毒症等医療費助成実施要綱										
	妊娠中毒症等に罹患している妊婦で、前年の所得税額が3万円以下の世帯に属するか、または入院見込み期間が26日以上の方。		(3) 杉並区妊娠中毒症等罹患患者医療費助成実施要綱												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		申請を保健センター経由で受理し、申請者に対し医療費の自己負担額を助成している。		活動指標名 (式)			(1) 助成を受けた人数							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		妊娠・出産に支障を及ぼす恐れのある疾病のため、必要な医療費の助成を行い、早期に適切な医療を受けることを容易にし、健全な出産を促す。		成果指標名 (式)			(1) (代) 医療受給者数 / 妊娠届出数							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		母性並びに乳児の健康の保持及び増進を図る。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標 (1)		6		5		7		3		7				
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		0.14		0.12				0.07						
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,160		1,315		1,182		252		1,181		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		2		0		0			
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.22	0.00	0.25	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907		907		908		1,997		2,269		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	2,067		2,222		2,090		2,249		3,450			
	単位あたりコスト ÷		円	344,550		444,460		298,500		749,500		492,821			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	2,067		2,222		2,090		2,249		3,450				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		妊婦数は減少傾向にあるが、申請者数は毎年3~10人の間で推移している。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		出産年齢の高齢化に伴い、妊娠中毒症等の発症者数は増加の可能性がある。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		育成医療・療育給付公費負担				整理番号	461		枝番号		
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	492	
係名		保健係		上位施策名				NO			
予算事業名		母子保健医療費助成		コード	44000		健康を支える仕組みづくり		40		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 児童福祉法第20条及び第21条の9				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京都育成医療及び療育給付事業交付金交付要綱						
	育成医療：18歳未満の児童で、身体障害者福祉法の規定による身体上の障害を有する者、又は将来障害を残すと認められる者で、確実な治療効果が期待できる者		療育給付：18歳未満の児童で、結核に罹っていて入院が必要な者		(3) 杉並区育成医療及び療育給付事業実施要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		給付申請を保健センター経由で受理し、保護者に医療券を交付して、医療費の助成を行う。 療養生活に必要な日用品と学校教育を受けるに必要な学用品の給付を行う。		活動指標名（式）						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		身体に障害のある児童に対し、適切な治療を施し、障害の程度を最小限に抑える。結核に罹っている児童には、専門的で適切な医療給付を行い治療させる。		成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害や結核の治療に係る医療費の経済的負担は大きく、保護者にとって当医療費助成制度は、安心して適切な医療が受けることができ、健康を支える仕組みづくりに大いに貢献している。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	135	108	84	108				
	活動指標(2)		件	3	4	1	4				
	成果指標(1)		%	0.67		0.4					
	成果指標(2)		%	12.50		14.29					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,641	9,320	8,224	5,700	特記事項			
	(内)委託費		千円		11	8	11				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.20 0.00	0.20 0.00	0.52 0.00	0.84 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,815	1,815	4,719	7,623			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	6,456	11,135	12,943	13,323			
	単位あたりコスト ÷		円		47,819	103,102	154,083	123,361			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	34	36			
		国 都等からの支出金		千円		4,574	9,277	8,201	5,656		
		特定財源計 +		千円	0	4,574	9,277	8,235	5,692		
差引：一般財源 -		千円	0	1,882	1,858	4,708	7,631				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.3	0.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度までは東京都における事業だったが、12年度4月から区に移管された。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		障害を持った児童及び結核に罹患する児童が、今後どれだけ発生し、18歳になるまでに完治する者がどれ位になるか予測は立てられない。確率論的に見て、毎年同程度の出現率とみなすしかない。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大気汚染障害者認定				整理番号	473		枝番号					
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	510				
係名				保健係		上位施策名				NO				
予算事業名				大気汚染被害対策		コード	45400		生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		47 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 東京都大気汚染に係る医療費の助成に関する条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区大気汚染障害者認定審査会条例							
	指定疾病にかかっている18歳未満で、都内に引き続き1年以上住所を有する区民						(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				認定審査会において認定されたぜん息患者に医療券を交付し、都は医療費を助成する。		活動指標名 (式)							
							(1) 新規申請者数							
						(2) 区内認定患者数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				疾病にかかった者に対して医療費の助成をし、健康障害の救済を図る。		成果指標名 (式)								
						(1) (代) 認定者数 ÷ 新規・更新申請者数								
						(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
成長過程にあたる18歳未満でぜん息にかかっている者に対し医療費を助成することにより適切な医療の機会を確保し、早期の治療と改善を図ることができる。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標 (1)		人	1,275	1,117	1,300	1,097	1,300						
	活動指標 (2)		人	2,431	2,293	2,500	2,135	2,400						
	成果指標 (1)		%	100	100	100	100	100						
	成果指標 (2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,979	1,302	1,477	1,214	1,455	特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0						
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.69 0.00	0.46 0.00	0.40 0.00	0.76 0.00	0.90 0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,260	4,174	3,630	6,897	8,168						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + + +		千円	8,239	5,476	5,107	8,111	9,623						
	単位あたりコスト ÷		円	6,462	4,902	3,928	7,394	7,402						
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	8,239	5,476	5,107	8,111	9,623							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新規申請者数は減少傾向にある。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		大気汚染障害者に対する医療費助成制度の存在を知る機会がない。申請書類の簡素化。											
	今後の予測		平成14年秋から大気汚染の医療費助成制度の改正が予定されている。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		光化学スモッグ被害対策				整理番号	474		枝番号							
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	511					
係名				保健係		上位施策名				NO						
予算事業名				大気汚染被害対策		コード	45400		生涯を通じた健康づくりの支援			23				
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		48 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区光化学スモッグ被害救急措置要綱							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内で発生した光化学スモッグの被害者						(2) 杉並区光化学スモッグ被害救急措置要綱の運営細則			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				学校等区内施設における光化学スモッグ被害に対処するため要綱を定め救急措置態勢を整えている。								活動指標名 (式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				光化学スモッグ被害が発生した時、杉並区医師会、杉並区、施設担当課の連携のもとに、その被害に緊急適切に対処する。								成果指標名 (式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												(1) 被害者の出た日数 ÷ 発令日数の割合 × 100 (%)				
関係機関の連携のもとに被害者を救済し適切な処置を行うことにより、光化学スモッグ被害から区民を守る。												(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%					
				計画	実績		年度									
指標	活動指標 (1)		所	327	320	321	321	321								
	活動指標 (2)		件	0	0	0	0	0								
	成果指標 (1)		%	31	29	29	29	29								
	成果指標 (2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	641	736	744	564	740	特記事項							
	(内)委託費		千円	533	500	629	500	629								
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.12 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,089	2,268	2,269	1,815	1,815							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + + +		千円	1,730	3,004	3,013	2,379	2,555								
	単位あたりコスト ÷		円	5,290	9,388	9,386	7,411	7,960								
	財源	受益者負担分		千円												
		国 都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	1,730	3,004	3,013	2,379	2,555									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学校区内施設、及び医師会による救急措置体制に変わりはないが、12年度より三宅島の二酸化硫黄による影響がみられるようになった。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		解除発令がない。													
	今後の予測		地球温暖化の影響により 今後も光化学スモッグの発生が予想される。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公害学級				整理番号	475		枝番号		
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	512	
係名		保健係				上位施策名			NO		
予算事業名		大気汚染被害対策		コード	45400	生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		56 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 公害健康被害の補償に関する法律				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		大気汚染による、ぜん息医療費公費負担制度の認定者及び受講希望者。		(2) 公害学級実施要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		年1回杉並保健所でアレルギー専門医を招いて、講習会を実施している。				(3)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		患儿及び保護者に対して、講習会を実施することにより、ぜん息等のアレルギー疾患に対する正しい知識、自己管理方法、万が一のぜん息発作時の対処方法等について習得を図る。				活動指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ぜん息等のアレルギー疾患に対する正しい知識の普及を図ることで、生涯を通じて健康づくりに貢献する。									
成果指標名(式)		(1) 参加してよかったと感じた参加者数									
		(2)									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	57	7	80	4	80	80	5.0		
	活動指標(2)	人	2,431	2,293	2,500	2,135	2,400				
	成果指標(1)	%				2					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	117	10	138	24	71	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.58	0.00	0.10	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,262	907	454	454	908			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	5,379	917	592	478	979			
	単位あたりコスト ÷		円	94,374	131,043	7,397	119,438	12,231			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	5,379	917	592	478	979				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ぜん息を始めとしてアレルギー疾患に悩んでいる患者及び家族は全国的に増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		ぜん息及びアレルギー疾患に関する知識 情報の提供を要望する声は多い。								
	今後の予測		アレルギー疾患は全国域で増加しており 相談や情報提供等のニーズが高くなると予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳幼児アレルギー健康診査				整理番号	476		枝番号		
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	513	
係名		保健係		上位施策名				NO			
予算事業名		公害健康被害予防		コード	45600		生涯を通じた健康づくりの支援		23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 公害健康被害の補償等に関する法律 第8条5項				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		4か月児健診及び1歳6か月児健診時に来所した者で、アレルギー疾患がみられる乳幼児や相談を希望する者。		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		対象者に対し、専門医の診察及び栄養士・保健師による相談・指導を実施している。		活動指標名(式)		(1) アレルギー相談受診件数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		アレルギー疾患を持つ乳幼児の早期の予防対策を図ると同時に、アレルギー疾患の予防・改善に関するアドバイスや情報提供を行うことで、保護者の不安解消と正しい知識の習得による生活改善を図る。		成果指標名(式)		(1) 相談受診件数 / (4か月児健診 + 1.6歳児健診受診者数)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		アレルギー疾患の早期発見により乳幼児の健康保持増進を図り、生涯を通じた健康づくりに寄与している。				(2)				
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	211	180			211			
	活動指標(2)		回	54	54	54	54	54	54	100.0	
	成果指標(1)		%	3.11	2.58			3.01			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,864	3,417	3,784	3,543	3,975	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.85	0.05	0.72	0.05	0.94	0.00	1.03	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,712	6,533	8,531	9,347	7,532		
		非常勤職員分		千円	147	147	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	11,723	10,097	12,315	12,890	11,507			
	単位あたりコスト ÷		円	55,559	56,092			61,091			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国都等からの支出金		千円		3,444	5,248	4,912	5,279		
		特定財源計 +		千円	0	3,444	5,248	4,912	5,279		
差引:一般財源 -		千円	11,723	6,653	7,067	7,978	6,228				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		年々、アレルギー疾患は増加傾向にあり、その背景には生活環境の変化が大きく影響している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		アレルギー疾患の予防 適切な治療方法等の情報提供を要望する声がある。また、夜間に発作が起きたときに対応できる病院のリストの作成を求める声が多い。								
	今後の予測		区民は、健診より先むしろアレルギー関係の情報を求めている部分が多い。すでに主治医を持っている場合は、保健所に対して医療的なサービスは求めている。その一方で、医療機関の情報を求めている区民も存在する。アレルギー疾患に関する幅広い情報の提供が今後より一層求められる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ぜん息児機能回復訓練等			整理番号	477		枝番号			
所属部課名 杉並保健所保健予防課				コード	150531	連絡先電話番号	4525	昨年度整理番号	514		
係名 保健係					上位施策名				NO		
予算事業名		公害健康被害予防			コード	45600		生涯を通じた健康づくりの支援			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				2 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 公害健康被害の補償等に関する法律				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 健康被害予防事業助成金交付要綱						
	東京都の大気汚染に係る健康被害者に関する医療費助成に基づく被認定者又は慢性気管支炎・気管支ぜん息に罹患しているもののうち、希望者。				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)					
	機能回復訓練として、水泳教室、サマーキャンプ、音楽教室を行う。水泳教室は4歳から小学4年生を対象に週1回(全10回)温水プールにて水泳指導を行う。キャンプは小学4年生から中学3年生を対象に、弓ヶ浜学園にて4泊5日の集団生活を行う。音楽教室は4歳から6歳(未就学児)を対象に音楽療法士による音楽療法(全3回)を行う。					(1) 参加者実人数 (2) 申込率 (申込者数÷対象者数)×100					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)						
ぜん息児に対して、幼児の時期からぜん息の発作が起きたときにも腹式呼吸等により自分で対処できるようになることで自信をつけさせると同時に、自分の健康は自分で管理する習慣をつけさせる。保護者にはぜん息の知識対処法を理解してもら					(1) 出席率 (延べ出席者数÷全員出席した時の延べ総数)×100 (2) 参加してよかったと感じた参加者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
機能回復訓練を通して、保護者はぜん息に関して理解を深め、また、ぜん息にかかりにくい生活環境づくりを考えるきっかけとなる。ぜん息児は発作の起きた時の対処法を習得し、生活習慣を改善させていくことで、生涯を通じて自分の健康について考える習慣づけとなる。											

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	192	115	166	126	70	166	75.9	
	活動指標(2)	%	11.9	5.5		8.2				
	成果指標(1)	%	83.8	88.3	100	84.9	100	100	84.9	
	成果指標(2)	人	123	109	166	118	70	166	71.1	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,570	8,269	9,775	7,917	2,716	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	1,480	0			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.02	0.00	0.99	0.00	0.91	0.00	0.79	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,254	8,982	8,258	7,169	5,899		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	17,824	17,251	18,033	15,086	8,615			
	単位あたりコスト ÷	円	92,836	150,011	108,634	119,732	123,068			
	財源	受益者負担分	千円	825	795	840	624	0		
		国都等からの支出金	千円	7,378	7,114	6,839	6,076	1,970		
		特定財源計 +	千円	8,203	7,909	7,679	6,700	1,970		
差引:一般財源 -		千円	9,621	9,342	10,354	8,386	6,645			
受益者負担比率 ÷	%	4.6	4.6	4.7	4.1	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	大気汚染等を原因とするぜん息の発症のほかに、ダニなどによる生活アレルギーを原因とするぜん息が発生している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	事業の実施にあたっては、平日や夕方の実施より土曜 休日の開催を求める声が多い。また、水泳教室については、杉十小温水プール以外での利用を要望する声も多い。
	今後の予測	平日以外の事業実施と杉十小温水プール以外での開催に係る要望は今後も増加するものと思われる。(水泳教室を実施する場合、プールの水位を30cm下げることがあるため、貯水機能のある杉十小温水プールを利用せざるをえない状況である。幼児を対象に幼児用プールの利用を考えることにより、上井草 高井戸の温水プールでの実施を検討する必要がある。)

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		予防接種				整理番号	478		枝番号				
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150532	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	516			
係名		予防係			上位施策名				NO				
予算事業名		予防接種		コード	48950		健康を支える仕組みづくり						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		23 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 予防接種法						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 特別区予防接種相互委託協定書								
	法に定める接種対象年齢に該当する区民		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)										
	法律で定められたジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風(以上一類)、インフルエンザ(以上二類)の予防接種を区内医療機関に委託して行う。		(1) 一類及び二類予防接種の延接種件数										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)											
上記にあげた疾病の発生及びまん延が予防される。		(1) (代)一類予防接種の接種率(延接種件数/延対象件数×100)											
		(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
疾病の発症を未然に防ぐことで、健康的な生活を送ることができる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			17 年度		
指標	活動指標(1)		件	43,821	38,391	41,650	60,003	84,499					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	75	74	76	80	76		80	100.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	270,596	242,418	256,095	300,706	350,892		特記事項			
	(内)委託費		千円	264,252	237,516	249,656	295,810	344,787					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.63	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.33	0.00	1.33	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,789	12,702	12,705	12,070	12,070					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	285,385	255,120	268,800	312,776	362,962					
	単位あたりコスト ÷		円	6,513	6,645	6,454	5,213	4,295					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国 都等からの支出金		千円	18,450	10,578	16,659	23,591	18,018				
		特定財源計 +		千円	18,450	10,578	16,659	23,591	18,018				
差引:一般財源 -		千円	266,935	244,542	252,141	289,185	344,944						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		・平成6年度の法改正により、義務接種から勧奨接種へ、また集団接種から個別接種へ変更された。この結果学齢期の接種率が著しく低下したままとなっている。(学齢期児童接種率:平成6年度91% 13年度47%) ・平成13年11月から高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種が始まった。(接種件数18456件)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		・集団接種で行うポリオ予防接種について、会場での担当者の対応が悪いとの声がある。 ・肺炎球菌、乳幼児インフルエンザ等法外予防接種の接種費助成の要望がある。 ・予防接種に関する事務的、医療的な問い合わせが非常に多い。										
	今後の予測		・ポリオワクチン接種のあり方について(不活化ワクチンへの切り替え)今後厚生労働省の審議会で検討を行う予定。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康被害救済				整理番号	479		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150532		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	517				
係名		予防係		上位施策名				NO							
予算事業名		予防接種		コード	46200		健康を支える仕組みづくり				40				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 予防接種法第11条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		予防接種により健康被害を受けた者		(2) 結核予防法第21条の2								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		予防接種により健康被害を受けた者に対し、障害年金、医療費・医療手当の給付を行う。				(3) 予防接種法及び結核予防法の一部を改正する法律附則第3条第1項								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		予防接種により健康被害を受けた者を救済する。				活動指標名(式)								
								(1) 健康被害認定者							
								(2) 年度給付額 (年金 医療費 医療手当)							
								(1) 一人当り平均給付額							
								(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
予防接種による健康被害の救済を図るとともに、接種者及び被接種者に対する信頼を確保し、より予防接種を受けやすい環境づくりに貢献している。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	8		8		8		8					
	活動指標(2)		円	30,048,660		29,841,470		31,416,145		30,148,120		34,465,850			
	成果指標(1)		円	3,756,083		3,730,184		39,270,189		3,768,515		4,308,232			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,048		29,842		31,452		30,149		34,501		特記事項	
	(内)委託費		千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.22	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,996		1,815		1,815		1,815		1,815		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	32,044		31,657		33,267		31,964		36,316			
	単位あたりコスト ÷		円	4,005,508		3,957,075		4,158,375		3,995,500		4,539,500			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国都等からの支出金		千円	22,536		22,381		22,381		22,611		25,830		
		特定財源計 +		千円	22,536		22,381		22,381		22,611		25,830		
差引:一般財源 -		千円	9,508		9,276		10,886		9,353		10,486				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ワクチンが改良され、健康被害者の発生は減っている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		健康被害者に対する給付は今後とも継続していく必要がある。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		感染症対策				整理番号	480		枝番号						
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150532		連絡先 電話番号	4525		昨年度 整理番号	518				
係名				予防係				上位施策名				NO			
予算事業名				感染症対策				健康を支える仕組みづくり				40			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 同法律施行令								
			感染症患者・家族・関係者 学校施設、小児施設、高齢者施設等				(3) 東京都の感染症の予防のための施策の実施に関する計画								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		感染症発生時に医師、保健師、事務担当、食品衛生監視員等で初動チームを編成し、速やかに当該者に対し防疫措置を実施する。また、感染症流行情報を収集・分析し公表する。				活動指標名 (式)								
						(1) 1・2・3類感染症患者発生数									
						(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		感染症発生時に迅速・的確な防疫措置を実施し、まん延の防止を図る。また、感染症情報を収集・公表し感染症の発生を予防する。				成果指標名 (式)									
						(1) (代)患者 関係者に対する検便実施数									
						(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
感染症の発生とまん延を防止し区民の健康を守る。また、医療機関、学校・小児・高齢者施設等に情報提供することで、感染症の被害を未然に防止できる。															
区分		単位	11年度 実績		12年度 実績		13年度 計画		13年度 実績		14年度 計画	目標値 年度	目標値に 対する13 年度の達		
指標	活動指標 (1)		人	24		31				29		25			
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		回	101		151				97		100			
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,325		392		1,728		491		829		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		178		0		78			
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.49	0.11	1.65	0.00	1.65	0.00	2.42	0.00	1.78	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,519		14,970		14,974		21,962		16,154		
		非常勤職員分		千円	323		0		0		0		0		
	総事業費 + + +		千円	19,167		15,362		16,702		22,453		16,983			
	単位あたりコスト ÷		円	798,628		495,563				774,224		679,300			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	623		656		581		551		288		
		特定財源計 +		千円	623		656		581		551		288		
差引：一般財源 -		千円	18,544		14,706		16,121		21,902		16,695				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成 11 年 4 月感染症新法が施行された。旧法では、患者の隔離・家屋消毒等の強制的な防疫措置に重点が置かれていたが、新法での感染症対策は、人権に配慮した防疫対応が求められている。健康診断については、まん延の防止と感染を疑うに足る正当な理由のある者に対してのみの実施となり従来からの保菌者検索検便は廃止となった。また、新たに感染症流行状況の事前把握と情報提供に重点が置かれた。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		会社 (職場) や近隣住民に対して患者・感染者であることを知られないようにしたい。また、感染症流行情報やワクチン接種場所の情報が知りたい。												
	今後の予測		海外旅行や国際交流の活発化により 国内に持ち込まれる感染症の危険は高まっている。また、エボラ出血熱・エイズ等の新興感染症の出現や結核・赤痢・コレラ等、一度は克服できると考えられた疾患も、再興感染症として人々の健康を脅かしており、今後も予防対策は重要である。感染症の情報収集と提供については、今後インターネットPCの導入により幅広く情報提供がされるようになる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	エイズ対策	整理番号	481	枝番号	
所属部課名	杉並保健所保健予防課	コード	150532	連絡先電話番号	4525
係名	予防係	コード	46400	健康を支える仕組みづくり	40
事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	62 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2) 杉並区エイズ及び性感染症相談事業実施要領			
．区内及び区外のすべての住民 ．区内在住の妊婦		(3) 杉並区HIV母子感染予防事業実施要綱			
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)		
	．各保健センター月1回の相談日に匿名で相談・抗体検査を実施。必要に応じ医療機関を紹介 ．区内指定医療機関で希望者にカウンセリング・抗体検査を実施。陽性者への地域支援。		(1) 相談件数 (電話相談を含む)		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)		
	．エイズの感染予防及び早期発見を行い、かつエイズ予防に対する正しい知識の提供による偏見や差別を防ぐ ．早期発見による母子感染の予防		(1) (代)保健所・保健センターでの抗体検査数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					
．感染防止及び早期発見が可能である。また、エイズに関する正しい知識の普及、偏見差別の解消 ．早期発見により母子間感染を予防する。また、陽性者に対する地域支援が可能。					

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成
				計画	実績		年度	年度	
指標	活動指標(1)	件	443	571		1182	600		
	活動指標(2)	件	2131	2007	2050	2137	2107		
	成果指標(1)	件	161	236	200	497	250		
	成果指標(2)	率	61	56		59	60		

総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,506	6,988	8,085	7,343	7,654	特記事項 活動指標(1)成果指標(1)について、平成13年6月～10月まで、C型肝炎抗体検査同時受診時、無料検査実施(299件)につき検査件数が激増した。	
	(内)委託費		千円	11,829	5,719	5,819	6,139	6,152		
	職員数(正規 非常勤)		人	2.25	2.85	3.08	2.28	1.50		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	20,414	25,858	27,951	20,691	13,613		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +		千円	33,920	32,846	36,036	28,034	21,267		
	単位あたりコスト ÷		円	76,569	57,524		23,717	35,444		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		0
		国 都等からの支出金		千円	190	457	647	458		414
		特定財源計 +		千円	190	457	647	458		414
差引：一般財源 -		千円	33,730	32,389	35,389	27,576	20,853			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	．エイズに対する知識の普及で、相談しやすい環境となり、早期発見事例もある。しかし、患者・感染者は増加しているにもかかわらず、HIV抗体検査数は微増にとどまっている。 ．平成8年度の事業開始当初に比べ、指定医療機関が医師会未加入医療機関にも拡大した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	．エイズ・性感染症相談の実施回数・日時について利用しにくいという声がある。 ．抗体検査に自己負担を導入することについて、区民の健康を維持するために自己負担がかかることに対して見直すべきではないかとの意見がある。
	今後の予測	．今後もエイズの患者及び感染者が増加することが予測されるため、この事業の必要性はますます大きくなるものと思われる。また近年、性行動の低年齢化に伴い、若年層に対する予防啓発に力を入れる必要がある。 ．感染者の増加に伴い、早期発見・感染予防・偏見差別の防止はますます重要になっている。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		結核患者管理				整理番号	482		枝番号		
所属部課名杉並保健所保健予防課		コード	150531		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	521		
係名 予防係		上位施策名						NO			
予算事業名	結核対策	コード	49150		健康を支える仕組みづくり						40
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 結核予防法第24条、34条、35条、48条、49条					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		結核を発病した区民、及び、感染が濃厚に疑われる区民		(2) 結核予防法による登録及び管理検診実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	患者の発生を確認した時点で、患者の状況を把握し、病気の特性及び治療の重要性について説明し、患者の治療が終了するまで療養の支援を行う。治療終了後も決められた期間病状を確認し、再発の防止に努める。また、患者からの公費負担申請に基づき、専門知識を持った委員による結核診査協議会を経て、医療費を公費負担する。		活動指標名 (式)		(1) 新登録患者に対する保健指導件数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	結核患者が、療養支援、専門家の医療内容審査、及び経済的負担の軽減により、適切な医療を受けられるよう努める。治療中断者の発生及び治療終了者の再発を防止する。		成果指標名 (式)		(1) 治療が成功した患者数 ÷ 人にうつす可能性のある患者数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
結核患者が適切な医療の確保により完治できる体制、及び二次感染による蔓延を防止できる体制が整えられる。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	件	651	477		835					
	活動指標 (2)	件	58	70		76					
	成果指標 (1)	%	90.9	83.3	100	53.5	100				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	63,496	55,320	64,376	51,860	61,322	特記事項			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	186	253				
	職員数 (正規 非常勤)	人	7.22 0.00	6.84 0.00	7.42 0.00	6.10 0.00	7.76 0.00				
	人件費	千円	65,507	62,059	67,337	55,358	70,422				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +	千円	129,003	117,379	131,713	107,218	131,744				
	単位あたりコスト ÷	円	198,161	246,078		128,404					
	財源	千円									
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
	国 都等からの支出金	千円	58,409	31,397	44,921	38,205	41,958				
特定財源計 +	千円	58,409	31,397	44,921	38,205	41,958					
差引 : 一般財源 -	千円	70,594	85,982	86,792	69,013	89,786					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	結核の発生は、今まで減少傾向を示してきた。しかし、平成9年には、38年ぶりに新登録患者が増加し、48年ぶりに罹患率も上昇 (全国で0.1ポイント)した。平成11年7月26日に厚生労働省は「結核緊急事態宣言」を出した。その後再び新登録患者数・罹患率は減少に転じているが、減少率は鈍化している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	意見という形ではないが、長期にわたり保健所の指導を受ける必要性が理解されにくいようである。									
	今後の予測	最近の問題として、薬剤耐性菌の出現、合併症の増加、学校・職場・医療機関での集団感染などがあげられ、楽観できない。状況の変化に応じ、国レベルで、法律改正も視野に入れた結核対策の見直しが進められている。(小中学校でのツベルクリン反応検査とBCG摂取は廃止の見込み)									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		結核予防				整理番号	483		枝番号				
所属部課名		杉並保健所保健予防課		コード	150531	連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	523			
係名		予防係				上位施策名			NO				
予算事業名		結核対策		コード	49150	健康を支える仕組みづくり			40				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50	年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度		(1) 結核予防法第4条3項、同法第5条、同法第13条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内の4ヶ月児とその母親 患者の家族・患者と接触した区民・在勤者・在学者等結核に感染する恐れがある者							(2) 結核予防事務取扱指針	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		4ヶ月児にはカカリン反応検査、BCG接種を行い(未接種の4歳以下の乳幼児も受け入れている)、母親には胸部X線検査を行う。結核患者登録時には接触者を把握し、定期的に検診を実施する。							活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		乳幼児にBCG接種をすることにより、結核発病時の重篤化を防ぐ。結核を発病した母親の早期発見に努める。結核患者の家族、患者と接触した者へ検診を行い、感染者を早期発見する。							成果指標名(式)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		結核患者が早期発見により早期に治療を開始できる体制、及び二次感染による蔓延を防止できる体制が整えられる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	3,498	3,507	3,523		3,581					
	活動指標(2)		件	2,174	1,960			1,070					
	成果指標(1)		%	97.3	96.1	100.0		93.2	100.0				
	成果指標(2)			89.6	95.2	100.0		98.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,490	15,336	16,960		15,888	16,872		特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0		134	290				
	職員数(正規 非常勤)		人	5.90	0.00	3.58	0.00	3.57	0.00	4.67	0.00	4.06	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	53,531	32,481	32,398		42,380	36,845				
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0				
	総事業費 + + +		千円	71,021	47,817	49,358		58,268	53,717				
	単位あたりコスト ÷		円	20,303	13,635	14,010		16,272					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0	0			
		国都等からの支出金		千円	351	276	465		397	385			
		特定財源計 +		千円	351	276	465		397	385			
差引:一般財源 -		千円	70,670	47,541	48,893		57,871	53,332					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		結核の発生は、今まで減少傾向を示してきた。しかし、平成9年には、38年ぶりに新登録患者が増加し、48年ぶりに罹患率も上昇(全国で0.1ポイント)した。平成11年7月26日に厚生労働省は「結核緊急事態宣言」を出した。その後再び新登録患者数・罹患率は減少に転じているが、減少率は鈍化している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		なぜ検診が必要なのか、保健所に自分のプライバシーを言いたくない等。										
	今後の予測		最近の問題として、薬剤耐性菌の出現、合併症の増加、学校・職場・医療機関での集団感染などがあげられ、楽観できない。状況の変化に応じ、国レベルで、法律改正も視野に入れた結核対策の見直しが進められている。(小中学校でのツベルクリン反応検査とBCG摂取は廃止の見込み)										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生試験所運営				整理番号	409		枝番号			
所属部課名		杉並保健所衛生試験所		コード	152307	連絡先電話番号	4514	昨年度整理番号	435			
係名		理化学検査係		上位施策名					NO			
予算事業名		衛生試験所運営		コード	40800	健康を支える仕組みづくり					40	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		56 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法 (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区内在住者、区を含む事業所							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健所、環境課、消費生活課等からの検査依頼を受け、必要な試験検査を行い、所管課に結果を報告する。					活動指標名 (式) (1) 実施検査検体数 (件) (2) 検体受領回数 (回)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		行政判断に科学的根拠を与え、健康被害の未然防止・被害拡大防止・再発防止をはかる。					成果指標名 (式) (1) 腸管出血性大腸菌O157検出数 (件) (2) 食品添加物 (着色料) 検出数 (件)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の健康で安全な生活を確保している。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標 (1)		件	45431	45223	45500	47227	40000				
	活動指標 (2)		回	2451	2564	2500	2414	2100				
	成果指標 (1)		件	10	9	9	8	10				
	成果指標 (2)		件	128	157	157	121	120				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	55,729	51,113	56,586	54,177	59,361	特記事項			
	(内) 委託費		千円	16,716	13,826	16,231	15,284	20,394				
	職員数 (正規 非常勤)		人	18.09 1.00	18.19 1.00	17.25 0.00	17.60 0.00	16.62 0.00				
	人件費	職員分 (超勤分含む)	千円	164,131	165,038	156,544	159,720	150,827				
		非常勤職員分	千円	2,939	2,939	0	0	0				
	総事業費 + + +		千円	222,799	219,090	213,130	213,897	210,188				
	単位あたりコスト ÷		円	4,904	4,845	4,684	4,529	5,255				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引 : 一般財源 -		千円	222,799	219,090	213,130	213,897	210,188					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		保健所、公害課、消費者センターの検査部門を統合して発足し、その後、他課からの検査依頼も受け入れ、区の総合検査機関としての性格を強めてきたが、平成13年度に衛生試験所のあり方が見直され、法定検査と健康危機管理上必要な最小限の検査以外は外部委託されることになった。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望・苦情など)		区民と接していないため不明である。									
	今後の予測		国際化・情報化の進展及び生活環境の変化などにより、検査に対する要望が多様化・複雑化している。それに伴い、検査分野の拡大や検査の高度化が求められると予測される。									